

ロマンスチック 金銭感覚

お金って、
なんだろう？



東京ドキュメンタリー映画祭
準グランプリ
2023



第17回 1111・弁慶映画祭
フィルムネーション賞
2023



出演：湯山大一郎、傍嶋飛龍、江頭一晃、新井和宏、武井浩三、TAKE、小松貴（声）
撮影：加藤アラタ、栗原徹、西岡空良、高木陽春／劇中CM制作：下島匠／特殊映像：長良将史／カラリスト：Juan Pablo Mayol
録音：宮成弘／効果録音：東岳志／整音：佐片健／劇中ラジオ音源：Kajiwara Bing Toshio
ロゴデザイン：橋まさみ／グラフィックデザイン：高瀬彦／タイトル考案：柴田剛

監督・脚本・出演・編集／緑茶 麻悠 佐伯 龍蔵

企画・製作・配給 まちのレコード

文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業

2023年／日本／115分／カラー／ステレオ／アメリカンビスタサイズ／DCP



一緒に金銭感覚ツアーしませんか？

INTRODUCTION

俳優の緑茶麻悠と、映画作家の佐伯龍蔵が共同で監督した本作は、独自の金銭感覚を持つ人々に二人が取材を重ねた映像をフィクションとして再構築した新感覚映画である。未曾有の金融危機、円安による物価の高騰、市民への容赦ない課税、普段私たちが何気なく財布に入れている「お金」についての本質を問いかける！



STORY

映画監督である龍蔵と麻悠は、働けど働けど常にお金がない貧乏監督コンビだ。その理由は売れない自主映画を定期的に作り続けているから。生活費も底を付いたある日、二人は映画作りには避けて通れない「お金」について考え始める。そんな夜、旅人が突然来訪し二人に問いかける。

—お金って何ですか？—

二人はそれに答えることが出来ない。



それから家ではおかしい出来事が起こり始める。突然黄金虫に変身してしまう龍蔵、置いた覚えのない種籾や蜂の巣、鉱石ラジオから傍受した異次元ラジオ、定食屋さんで見る謎のCM…その過程で二人は「地域通貨」という存在に出会い、その実践者たちに話を伺う。話を聞くうちに、普段何気なく使っている法定通貨の外側に、とてもロマンチックな経済圏があることを知るのだった。どこまでが二人の妄想で、どこからが現実なのか？果たして二人は映画を完成させることが出来るのか？

COMMENT

暮らしと経済、そして家族。緑茶麻悠監督と佐伯龍蔵監督は、これから須要となるであろう社会の在り方を、都会から離れた視点をを用いながら多角的な提言を試みている。重要なのは、ふたりが被写体となっている点だろう。それは、フィクション性とドキュメンタリー性を伴わせながら、映画のジャンルをも横断させ、虚構と現実とを曖昧にさせてゆく由縁でもある。

そして、社会における現在進行形の問題における論点をも曖昧にさせてゆくことで、観客の脳裏に問題意識を芽生えさせてゆくという仕掛けまで為されていることは、何ともアツパレだ。—— 松崎 健夫 (映画評論家)

脚本・監督・出演・編集：佐伯龍蔵、緑茶麻悠／出演：湯山 一郎、傍柳飛龍、江頭一兎、新井和宏、武井浩三、TAKE、林憲子、高橋 夢、小松貴 (声)、竹下しんいち、玉屋ひな、矢野 聖、西村ひなた、みなみりょうべい、諸江翔大朗、タケダナラ、梅岡清、箱崎恵子、山ぐるみ、小吹修三、高哲郎、荒木秀行 (声)／撮影：加藤アラタ、栗原徹、西岡空良、高木陽春、撮影協力：赤井成彰、大西正彦、中島勇、渡辺雅海／劇中CM制作：下島所／特設映像：長良哲史／カラリスト：Juan Pablo Mayol／録音：宮成弘／効果録音：東岳志／整音：佐片健／劇中ラジオ音源：Kajiwara Bing Toshio／ロゴデザイン：橋まきみ／グラフィックデザイン：高橋 夢／タイトル考案：柴田 聖／協力：吉田 雅紀／廃材エロヴィレッジゆるゆる／井宮利株式会社Lumo／喫茶 華林店／シサム工房／京都デザイン&テクノロジー専門学校／企画・製作・配給：まちのレコード／文化庁「ARTS for the future! 2」補助対象事業／2023年／日本／115分／カラー／ステレオ／アメリカンビスタサイズ／DCP／©まちのレコード



2025年10月13日(月・祝)

平群町総合文化センター

平群駅より
徒歩1分

開場9:30 上映 10:00~12:00

組合員 500円 (一般 1000円)

主催：コープ自然派奈良 経世済民チームSpica

イベントID：16250334 申込みはHP,Mail,TELにて
mail: eventnara@shizenha.co.jp
TEL：0120-408-300 (サービスセンター)

